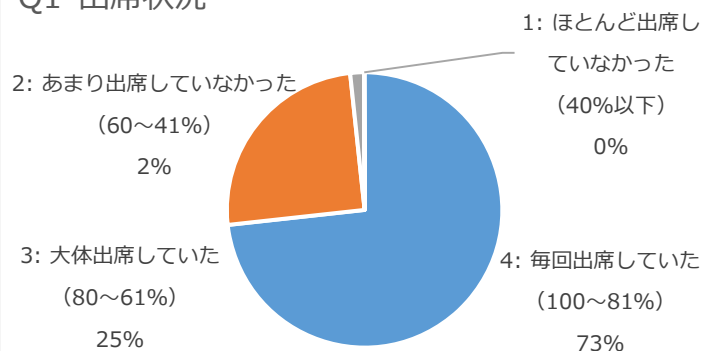
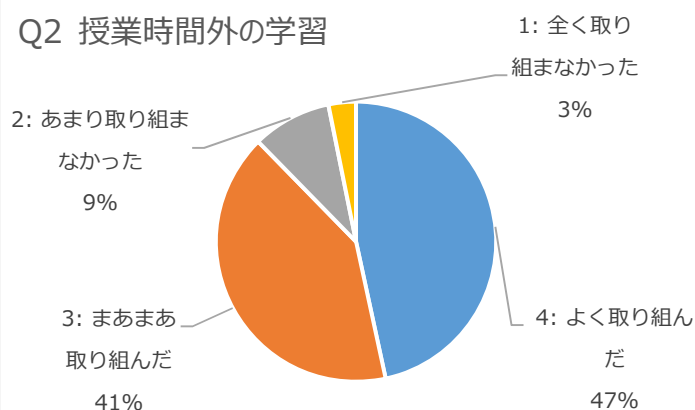


2021 前期授業アンケート 全体概要

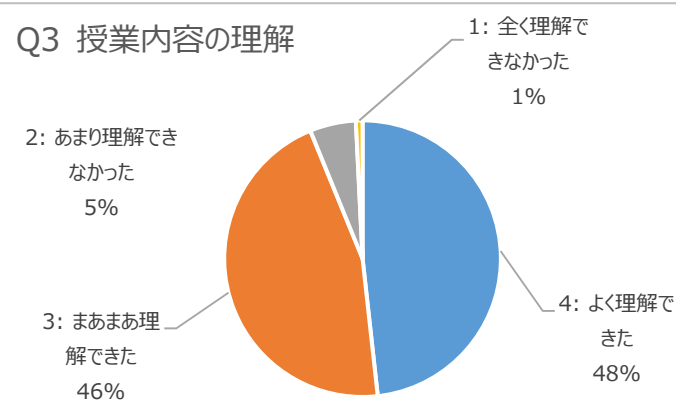
Q1 出席状況



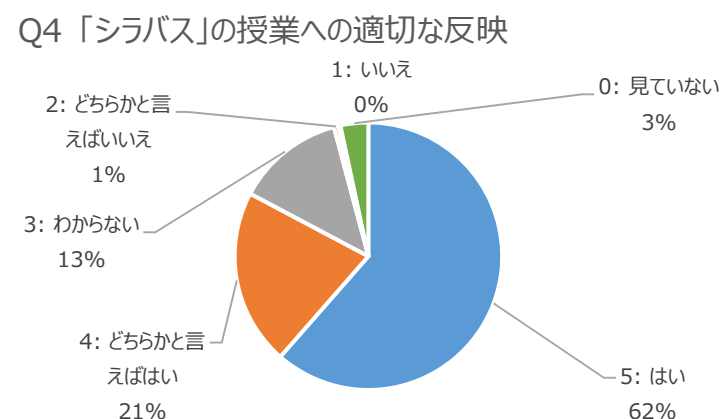
Q2 授業時間外の学習



Q3 授業内容の理解



Q4 「シラバス」の授業への適切な反映



実施概要

1. 目的：学生の授業の理解度、授業運営方法の有効性などを把握し、担当教員の授業改善に役立てる。
2. 対象科目：履修者が5名以上の全科目（188科目：専任129科目、非常勤59科目）
3. 調査方法・項目：
 - Google Formによるwebアンケート
 - 13項目（うち自由記述1項目）
- ・科目ごとに開始時間5分前に履修学生宛にURLを配信
- ・担当教員から当該授業開始時に回答を依頼
4. 調査期間：6/23(水)～7/16(金)（7/16(金)13:19締切）
5. 回答状況：延べ2734件の回答
6. 回答率*：専任（57%）
非常勤（57%）
全体（57%）

*科目別には、14%～100%とバラツキが見られ、担当教員からの授業開始前の説明など、実施方法の影響の可能性もある。

■授業内容の理解については、専任・非常勤ともに「よく理解できた」と「まあまあ理解できた」を合計すると、約90%となり、回答した学生はおおよそ授業が理解できていると思われる。

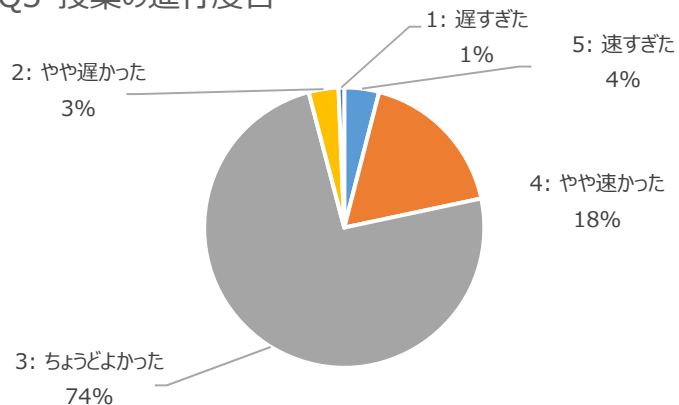
(注)回答率57%で、よく出席している人が回答していることから、理解度や満足度は高くなっている。

■Q5 授業の進行度合、Q6 課題の量についても、「ちょうどよい」が70%以上となっている。

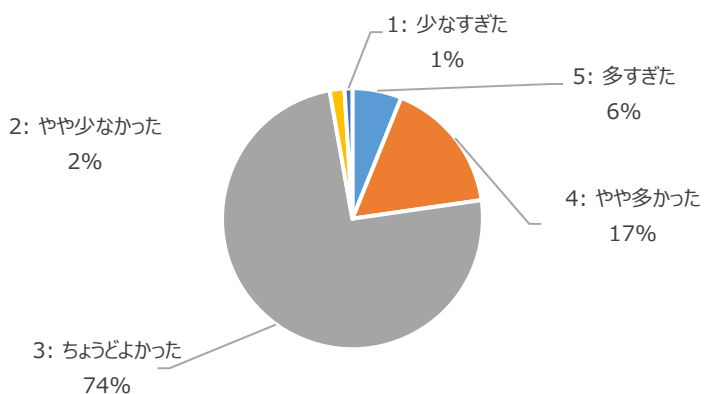
■授業は学生の参加を促すように工夫され（Q8）、担当教員の熱意も感じられる（Q9）ということで、総合的な満足度（Q10）は高い。

■開智式授業の特徴であるアクティブラーニング、ICT活用、英語併記等については、各授業で様々な工夫が積極的に行われている様子が伺え、遠隔授業も円滑に行われていた。

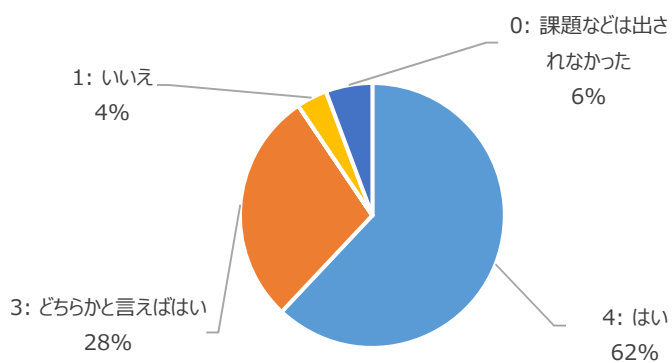
Q5 授業の進行度合



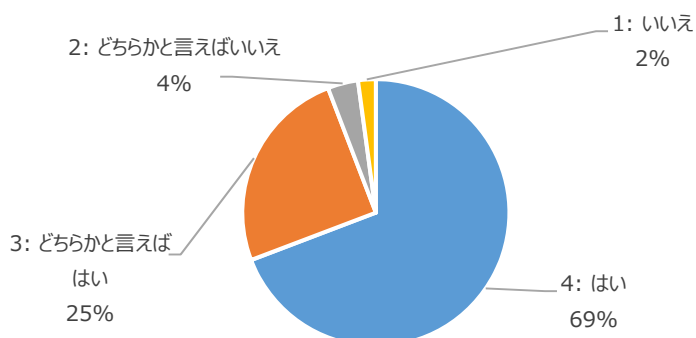
Q6 課題の量



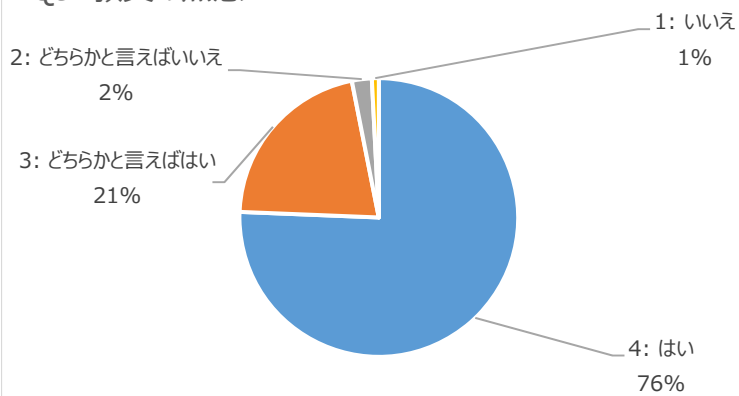
Q7 教員から学生へのフィードバックの有無



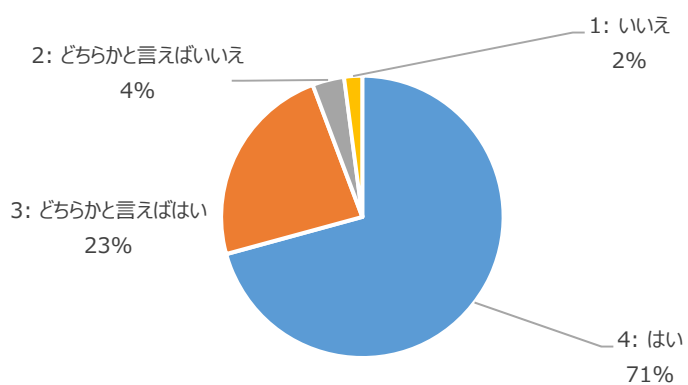
Q8 学生の授業参加への促し



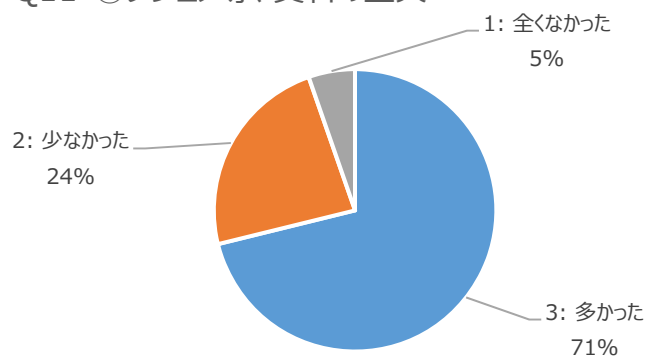
Q9 教員の熱意



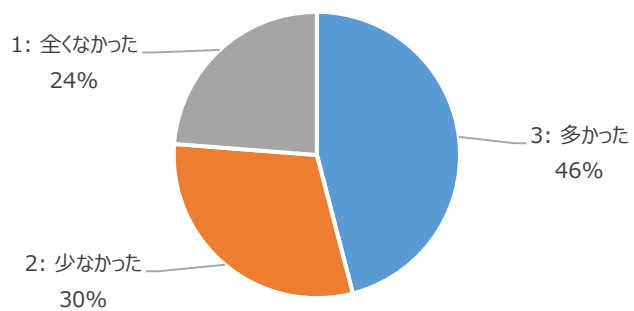
Q10 総合的満足度（意義ある授業）



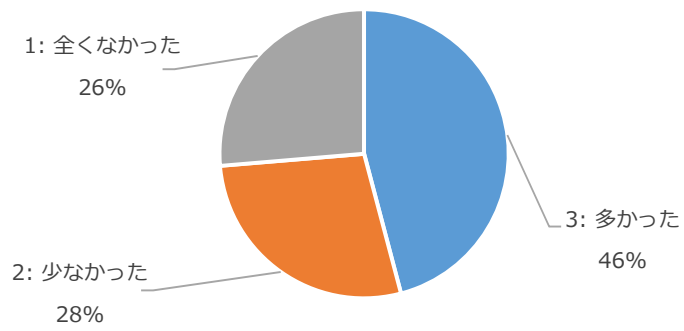
Q11 ①レジュメ等、資料の工夫



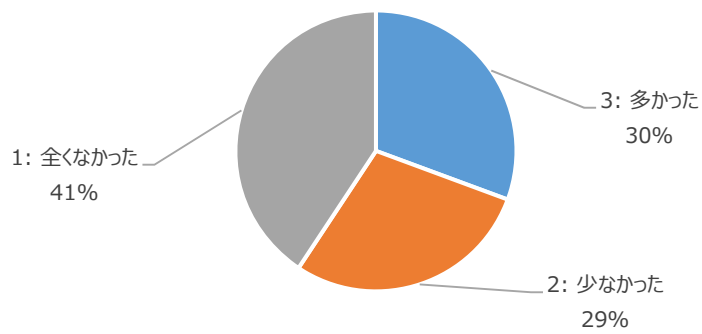
Q11 ②ディスカッション



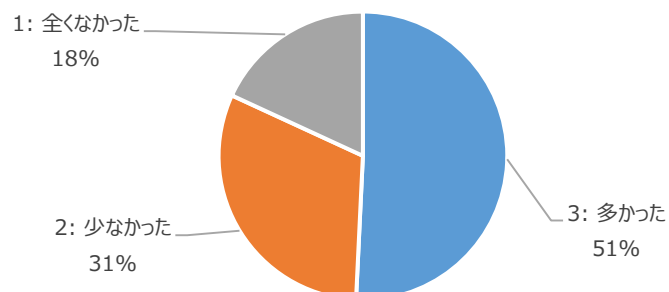
Q11 ③グループワークやペアワーク



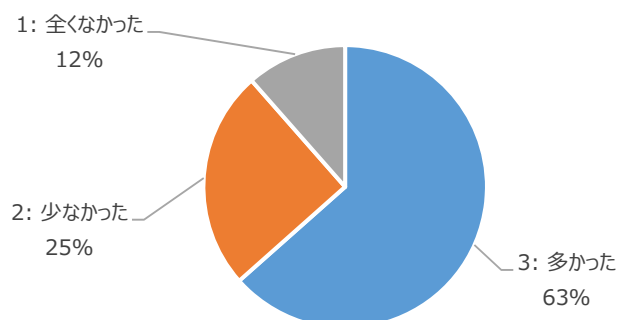
Q11 ④プレゼンテーション



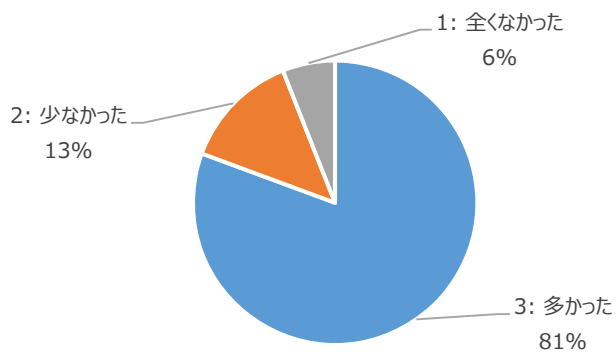
Q11 ⑤PC やタブレットの使用



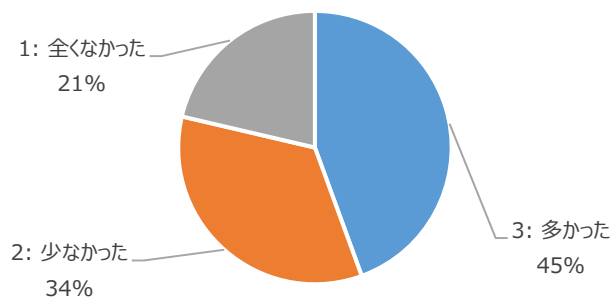
Q11 ⑥ビデオ（動画）やビジュアルの工夫



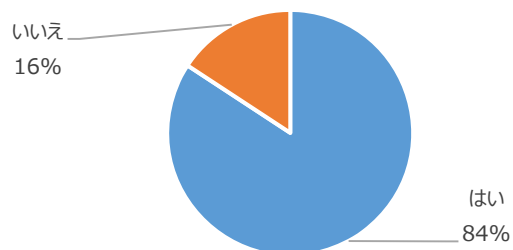
Q11 ⑦教員の ICT 機器の活用



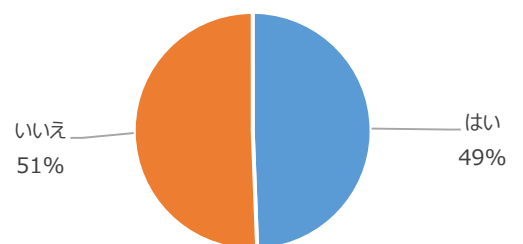
Q11 ⑧教員の英語による説明（英語科目除く）



Q12 ①遠隔授業の有無



Q12 ②遠隔授業の受講の有無



Q12 ③遠隔授業の受講について

